

基本目標1 健やかで若さあふれる元気なまち	施策名	サブ施策名	部会からの提言	担当課名
	安心して子どもを生き育てる環境づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ●心身ともに健やかな親子の育成支援 ●地域での子育て支援体制づくり ●保育サービスの充実 	放課後児童クラブの必要性は、各地区で高まっているので、地域と行政が連携して進めていく必要がある。	子育て支援課 学校教育課 社会教育課
	健康づくりの促進	<ul style="list-style-type: none"> ●市民の主体的な健康づくりの推進 ●健康診断の機会拡充 ●地域での健康づくりを推進する環境整備 	市民の健康に関する意識を高めるための啓発活動と、受診しやすい環境づくりを望む。	健康推進課
	みんなで支え合う福祉のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ●地域福祉を担う人材の育成 ●地域福祉計画に基づく地域福祉活動の促進 ●安心した自立生活を支える福祉サービスの充実 	地域での福祉活動を支える体制の強化を図ってほしい。	社会福祉課
	安心と生きがいのある高齢者福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者の生きがいづくりと社会参加の推進 ●高齢者の健康づくり・介護予防の推進 ●高齢者の自立生活支援と地域で支える仕組みの構築・充実 ●介護を受けながら安心して暮らす福祉サービスの充実 	社会活動や地域でのサロンなど高齢者の生きがいづくりとなるような支援策の充実が必要。	高齢福祉課
	地域で共に暮らせる障がい者福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> ●自立した生活を支える地域づくり ●公共施設のバリアフリー化の推進 	障がいのある人が地域で共に暮らすことのできる支援策をお願いしたい。 また、制度などの情報が周知されるよう進めてほしい。	社会福祉課
地域の医療・救急体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ●地域医療機能の整備と充実 ●保健・医療・福祉の地域包括ケア体制の構築 ●病院・診療所のネットワーク化 ●救急医療体制の充実 	医療機関の機能の充実と、交通アクセスの利便性の向上を図っていただきたい。	病院管理課 消防本部	

基本目標2 豊かな自然と調和した安全なまち	施策名	サブ施策名	部会からの提言	担当課名
	豊かな自然環境の保全と活用	<ul style="list-style-type: none"> ●山林や里山の保全・活用 ●河川やダム湖等の水質・水辺環境の保全整備 	災害の防止や環境保全のために森林施策を進めてほしい。 また、河川などの水辺環境の保全についてPRを行ってほしい。	環境課 林業振興課
	快適な都市環境づくり、まち並み景観整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●まち並み景観の保全と整備 ●安全で安定した水道の供給 ●身近な公園の整備 	景観計画の策定には、内容を分かりやすくして地域へ入ってほしい。 地域で行う広場（公園）整備への支援をお願いしたい。	都市整備課 上下水道課 振興事務所
	移住・定住対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●定住のための居住環境の充実 ●移住・定住者への生活支援 ●三世同居・近居の支援 ●移住・定住情報の発信・PR 	人口減少への対策として、転入対策と合わせて転出抑制の施策も進めてほしい。	企画課
	災害に強く、安心・安全なまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ●防災体制の強化と地域防災力の向上 ●消防力の充実強化 ●地域安全対策の推進 ●交通安全対策の推進 ●住宅等の地震対策 	市民の防災意識は高まってきている。地域での防災組織などの体制づくりや活動への行政からの支援を引き続き充実させて災害に備えることが重要である。	防災情報課 建設課 消防本部
	環境衛生対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> ●生活排水の適切な処理の推進 ●環境教育の強化と環境美化の推進 ●ごみの減量化・リサイクルの推進 ●環境衛生施設の整備充実 	環境教育などで適切なごみの出し方などの意識やモラルの向上を図ることが重要。また、高齢化に対応したステーションの配置などを地域と行政で検討を進めて欲しい。	環境課 上下水道課
地球温暖化対策の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●自然エネルギーの活用 ●バイオマスエネルギーの有効活用 ●化石燃料の消費削減（CO2削減） 	行政が積極的に自然エネルギーの活用を推進して欲しい。しかし、新たな施設建設などは、慎重に検討をして実施をしてほしい。	環境課 農業振興課 林業振興課	

平成23年度総合計画推進市民委員会【各施策への提言一覧】

	施策名	サブ施策名	部会からの提言	担当課名
基本目標3 快適に暮らせる便利で美しいまち	計画的な土地利用	●土地の計画的な利用と有効な活用	・公共事業の推進や、有効な土地利用をするためにも地籍調査の推進が必要である。国・県に対し財源確保を積極的に働きかけて行くべきである。 ・リニア新幹線の間駅が中津川市にできれば、都市部からの交流人口の増加や週末を田舎で過ごすなど生活様式の変化が予想される。人口流入を図るため、農地付住宅を含む宅地供給など、将来に向けて土地利用を考えていくべきである。	建設課 企画課
	地域内外の交流を支える道路体系の強化	●幹線道路の整備推進 ●身近な生活道路の整備推進 ●安全な歩道の整備推進	・リニア新幹線の間駅が中津川市に設置される案が公表された。今、整備が進められている恵中拡幅、事業実施に向け動き出した瑞浪恵那道路を中心として、三河東美濃連絡道路も視野に入れた道路体系を工業、観光、宅地供給などの面から再検討するべきである。 そのためにも、地籍調査を積極的に推進すべきである。	建設課
	公共交通の充実・強化	●鉄道の利便性の向上 ●市営バスの利便性の向上 ●総合的な交通体系の整備	・住民にとっては、遅い、高い、不便な明知鉄道かもしれないが、都会から来る人にとっては癒しを与えてくれる鉄道である。良い所を伸ばす工夫を継続して行っていただきたい。 ・地域協議会などと連携し、住民が明知鉄道に関心を持ってもらえるような工夫をしていただきたい。 ・観光面から、DMVの具体的な活用について、長所、短所も含め検討すべきである。 ・明知鉄道とバスとのダイヤの再検証や、利用しやすい料金への見直しが必要である。 ・バスについては、大型バスをマイクロバスにするなど経費の削減に努めるべきである。また、豊田市との連携、地域内の移動サービスとの連携が必要である。	商工観光課
	高度情報通信基盤の整備	●地域情報基盤の整備 ●自主放送チャンネル番組の充実	・市民への情報提供の手段としてケーブルテレビは重要である。アミックスコムが、市民参加による番組向上委員会のようなものを設置し、地域に密着した情報番組を作成し放送するなど、魅力あるチャンネルとし、加入率を高めるよう強く指導するべきである。 ・ウェブページは非常に専門的で、検索しづらいものになっている。記述の内容を分かりやすくする工夫や、検索方法を改善するなど、使いやすく魅力あるウェブページにすべきである。	防災情報課 企画課

	施策名	サブ施策名	部会からの提言	担当課名
基本目標4 活力と創造性あふれる魅力あるまち	にぎわいのある商業・サービス業の振興	●特色ある商店づくり ●にぎわいのある商店まちづくり、地域ブランドづくり ●活力ある中心市街地の再生 ●中山間地域における持続可能な商業環境づくり	・大型店の影響や人口の減少により中・小の店舗は厳しい経営状況である。まちなか市、プレミアム商品券の発行など商店、商工会議所、商工会、行政が連携した取り組みを、継続していくべきである。 ・中山間地域では、商店がだんだん少なくなっている。地域と商店、商工会議所、商工会、行政が連携し、地域に店舗を残すため、地域通貨の導入など支援策を検討してほしい。 ・交通の利便性を生かし、高齢者向け住宅と併用した店舗経営など新しい発想での取り組みを検討してほしい。 ・工場誘致などにより、人口が増加する施策を講じてほしい。	商工観光課
	新たな活力を生み出す工業の振興と新産業の育成	●工業の活性化 ●起業家の育成支援	・地域での雇用確保や商店街の活性化のため、第3期工業団地だけでなく、明智の工業団地などへの誘致活動も継続していくべきである。 ・事業主に対し、土地価格、アクセス道路整備状況などインターネットなどを利用した情報発信を充実していくべきである。 ・円高などの影響より工場の海外移転が進行している中で、市内企業もかなり厳しい状況である。商工会議所・商工会と行政が連携して支援策を検討していく必要がある。 ・都会にいたなくてもできる仕事は多くある。新たに恵那市に住む人に対して、農園付住宅の建設など検討してほしい。 ・間伐材を利用した、木質ペレット製造など、農業、林業と連携した新産業の検討してほしい。	商工観光課 農業振興課 林業振興課
	農林水産業の支援・高度化	●農林業の担い手の育成 ●農林業の振興と保全 ●地産地消（商）の促進 ●農林業生産基盤の整備	・耕作放棄地が拡大している。具体的な対策を早急に検討すべきである。また、増加する鳥獣被害に対して、対策の拡充が必要である。 ・都市部には、就農を希望する若者が多くいる。新規就農希望者に対する具体的な支援策を検討する必要がある。 ・「道の駅」などを充実し、農業者が安定した収入を得られるような、システムを作っていく必要がある。 ・森林の手入れ不足が進んでいる。間伐推進のため、間伐材を利用した、木質ペレット製造や薪ストーブへの活用など検討してほしい。新しい産業の育成や鳥獣被害対策にも繋がっていく。	農業振興課 商工観光課 林業振興課
	魅力ある就労環境の充実	●魅力ある就業の場の確保 ●就業環境の充実	・若い世代が子育てをしながら安心して就業できる環境づくりが重要である。恵那市は、子どもを育てる教育的環境が非常に良いことから、中学生までの福祉医療や予防接種、学童保育など子育て支援の取り組みを充実させていく必要がある。 ・保育園入園の待機者があるようであるが、希望者が全て入園できるようにすべきである。	健康推進課 子育て支援課
	地域資源の連携による個性的な観光の振興	●観光資源等の磨き上げ ●既存観光地・施設等の再生 ●観光PRと交流イベントの充実	・各地域で、自分の住んでいる地域の良さを見直し、魅力ある観光資源とする取り組みが行われている。観光協会との連携や、13地域での連携を深めながら、情報発信していく必要がある。 ・ホームページを魅力あるものとし、情報発信の充実を図り、報道機関への情報提供を今以上に積極的に行うべきである。 ・観光資源を生かすためには、アクセス道路の整備が重要課題である。引き続き、地域と連携し、国・県への要望活動が必要である。	商工観光課 企画課

基本目標5 思いやりと文化を育む人づくりのまち	施策名	サブ施策名	部会からの提言	担当課名
	学校教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ●より質の高い教育の推進 ●学校間・学校と地域の交流促進 ●相談しやすい環境づくり（心のケア） ●学校施設等の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の先生が地域のまちづくりに関心を深め、地域と学校がお互いにそれぞれの情報を共有し、地域と学校、先生、児童・生徒、地域住民によるまちづくりを進めていく必要がある。 	学校教育課
	生涯学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●生涯学習機会の拡充 ●生涯学習体制の充実 ●生涯学習施設の整備 ●読書推進と図書館機能の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民三学地域塾の認知度が低いため、各地域の地域協議会をはじめ各種まちづくり団体と連携を図ることが必要である。また、目標管理において、定量的評価だけでなく定性的な目標を立て評価・改善していくことが大事である。 	社会教育課
	人を育(はぐく)み、人を生かす教育	<ul style="list-style-type: none"> ●青少年の健全育成 ●家庭教育・地域教育の充実 ●人権教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育が重要視されている中で、市で策定した「家庭教育支援計画」があまり知られていないため、周知を徹底してほしい。 ・中学生などがボランティア活動に多く参加するようになったが一過性で終わる場合が多く、ボランティアの管理者がボランティアに来た中学生が活動に満足感を感じ、またボランティア活動に参加しようというような気持ちを持てるような配慮をしてほしい。 ・乳幼児学級の参加者が伸びないのは、内容が旧態依然としているせいではないか。さまざまな子育て支援サービスができてきた中で、乳幼児学級がどういうニーズに対応していくのか内容を再構築していく必要がある。また、共働きなど乳幼児学級などになかなか行くことができない方々に対する支援方策についても考えてほしい。 	社会教育課
	文化・芸術活動の振興	<ul style="list-style-type: none"> ●文化・芸術活動の推進 ●文化・芸術施設の整備と効率的な管理運営 ●文化・芸術の育成・PR 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化活動団体数や人数が年々減少しており後継者不足の問題が出ている。このため、若い人に入ってもらう仕掛けが必要である。例えば今まで以上に発表する機会を増やして活動団体の認知度を高めることや若い人が喜びを味わえるようなことで後継者育成ができないか。 ・文化芸術施設の今後の管理運営について、さまざまなニーズに対応するために、文化会館の大ホールをピアノ発表会の個人リハーサルなどに貸し出す利用促進方策を考えたらどうか。 	文化課
	文化財の保護	<ul style="list-style-type: none"> ●文化財の調査研究・評価 ●文化財の保存・活用 ●伝統文化の伝承 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい文化財の発掘も良いが、既に指定された文化財がしっかり保存されていないところがあるので、既存の指定文化財の保存をしっかりと行うべきである。 ・無形文化財についても後継者不足の問題を抱えており、後継者育成に力を入れるべきである。 	文化課
スポーツ活動の振興	<ul style="list-style-type: none"> ●地域スポーツの推進 ●スポーツをする機会の増大 ●スポーツをする場の提供 ●スポーツ交流の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ活動の振興については、競技スポーツに関する取り組みが弱い。「生涯スポーツ」と「競技スポーツ」の2本立てでスポーツ活動振興を図ることが必要である。 	スポーツ課	

基本目標6 健全で心の通った協働のまち	施策名	サブ施策名	部会からの提言	担当課名
	新しい自治の仕組みの確立	<ul style="list-style-type: none"> ●地域自治区の充実 ●地域コミュニティーの充実 ●市民による公益活動の充実 ●広報広聴活動の充実 ●行政情報の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成17年度に地域自治区条例に基づく地域協議会が置かれたが、従来の地縁団体である自治会等との棲み分けがしっかりできていない地区が多く、岩村のような先進事例を参考にしっかりと棲み分けができるように整理するべきである。 ・自治会加入率を上げていくためには、未加入者に対して加入によるメリットを明確に示さなければいけない。 ・市民提案型に比べて行政提案型の協働事業は少なく、行政職員が市民と協働で事業を進めるといった感覚を養成してほしい。 	まちづくり推進課
	男女共同参画の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●男女共同参画プランの推進 ●男女共同参画意識の啓発 ●ワークライフバランスの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・男女（ひと）の輪ネットワークの活動についての市民への情報提供が不十分であるため、情報提供をしっかりと行ってほしい。 ・ワークライフバランスが何のかわからないので、もっと積極的に啓発してほしい。 	まちづくり推進課
	国際・都市・地域間交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●国際交流・多文化共生の推進 ●国際化に対応できる人づくり・まちづくり ●都市・地域間交流の推進 ●市内地域間交流の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・東北の震災を踏まえて、防災協定を考えた地域間交流を検討するべきである。交流を行う都市については、被災時にお互いが助け合えるよう北海道から沖縄まで幅広く考えた方がよい。（東海地震の想定区域内同士ではあまり意味がない。） ・現在岩村が行っている都市間交流は、旧町村が窓口で行っているだけでは発展性がなく、恵那市全体で対応できるよう検討してほしい。 	防災情報課 商工観光課 まちづくり推進課
時代に対応した行財政基盤の確立	<ul style="list-style-type: none"> ●適正な行政経営 ●健全な財政経営 	<ul style="list-style-type: none"> ・行財政改革という削るばかりの考え方になりがちであるが、リニア中央新幹線の間駅や車両基地の建設を見据えた雇用の伴った住宅建設など歳入（市税）の確保を積極的に行う必要がある。 	企画課	

平成23年度総合計画推進市民委員会【各施策への提言一覧】

重点戦略	主な取り組み	部会からの提言		
		担当課名		
人口減少対策プロジェクト	共通	1・地域別の目標人口の設定 2・恵那市に住むことの満足度を高めていく。	企画課	
	少子化対策	①結婚支援	1・地域単位や企業単位でのイベントを行う。(他の担い手) 2・結婚相談のサポーターを設ける。 3・担い手として若者の参加を。 4・結婚のためのサロンの設置を。	企画課
		②子育て支援サービスの強化	1・高齢者と学童を一緒にした施設の整備 2・学童保育の充実(市単独補助) 3・周辺地域での未満児保育の充実 4・待機児童の解消に向けて、「保育ママ制度の導入」など具体的な施策の展開 5・子育て支援情報の結婚する世代へのPR 6・孫育てを学び、活用する 7・出産後の母子訪問事業の展開	
		③産科・小児医療の充実		
	健康寿命の延伸対策	①高齢者の生活支援・生きがい活動支援	1・「高齢者が生涯現役で頑張れるまちづくり」をテーマとする。 2・高齢者が働ける場をつくる 3・高齢者を先生とする学校の開設。 4・高齢者の能力を生かすサポートセンターの設置。	高齢福祉課 健康推進課
		②健康寿命延伸支援	1・高齢者が長生きするために必要なことを検討し施策に。	高齢福祉課 健康推進課
	魅力づくり対策	①歴史・自然・生活を生かしたまちづくり		教育委員会 企画課
		②郷土の誇りの磨き上げとよさの再発見	1・コミュニティのつながりを大切にする(学校での地域文化の継承や地域文化交流事業の開催)	学校教育課 まちづくり推進課
		③まちの魅力の発信・PR	1・市HPの充実・子育て支援情報の提供。 2・市民全員が宣伝マンに(市民を育てる) 3・市からリアルタイムにブログ等を行っている方へ情報提供する	企画課
	雇用対策	①安定した雇用の確保	1・市内での就業のサポート(情報提供等) 2・名古屋通勤しやすいような方策(JRダイヤの充実など) 3・リニア関連企業の誘致	商工観光課 農業振興課
②起業支援		1・新規就農など”個人の起業”を支援する制度の創設や起業支援者を育成する	商工観光課 農業振興課	
③農林業の活用		1・農林業で暮らせる仕組みづくり(地産地消、加工品開発、農地情報などのサポート体制)	農業振興課 林業振興課 商工観光課	
移住・定住対策	①定住の促進	1・若者の市営住宅入居や民間住宅入居の支援 2・市民向けの定住支援制度の創設 3・震災による避難者への定住環境を提供する 4・定住促進住宅の整備促進・拡大(地区を増やす) 5・リニアによるまちづくり(アクセス整備・田舎の景観整備・宅地供給・規制の緩和・パンフレットの一元化・地域文化)	都市整備課 企画課	
	②空き家・地域活性化対策	1・交流人口の増加から定住者を増やす。 2・定住促進の地域活動を支援する 3・地域の拠点施設整備の支援。	企画課	
	③三世帯同居・近居の支援	1・同居・近居のための増改築に対する助成制度等の創設 2・「近居のススメ」を冊子にまとめる 3・近居のための用地確保をしやすくする。(農地法の緩和)	企画課 都市整備課 農業振興課	
	④外国人への支援			

重点戦略	主な取り組み	部会からの提言		
		担当課名		
長期財政計画プロジェクト	歳入の維持・確保	①人口減少対策の推進 ②財源の確保 ③有利な地方債の活用	・市や商工会議所、地元の企業が今まで以上に協力して、若者の地元就職・定住を進める必要がある。 ・財源確保の視点で企業誘致活動をさらに進めていく必要があるが、併せて地元企業に対する支援も必要である。 ・都市計画税のあり方について、財源確保と税の負担の公平性の2つの観点から検討すべきである。 ・財産区の財産を市の財源として検討していく必要がある。	企画課 商工観光課 都市整備課 税務課 まちづくり推進課
	歳出の抑制・削減と効率化	①人件費・職員定数の適正化 ②公共施設の統廃合、管理運営費の削減等 ③その他の行財政改革の推進	・人口減少対策などの政策を行う上で部や課を乗り越えて横の連携を深めた取り組みを果敢に挑戦してほしい。 ・収納率の向上と事務の効率化を図るため、市内の事業所に対してエルタックスによる電子申告をPRしてほしい。 ・長期財政計画では公債費の割合が年々増加していくため、投資的経費などを極力抑え、公債費の縮減をしていくことが必要である。	企画課 税務課 財務課
	協働による市民サービスの充実	①協働による市民サービスの充実 ②職員の意識改革・資質向上	・地域との協働を進めていくためには、自治区条例の中身をしっかり理解する必要があるが、行政の職員も住民もしっかり理解していない。このため、行政も市民も自治区条例の中身をしっかり勉強する必要がある。	まちづくり推進課 総務課
	財政に関する市民の関心を高める	①市民との財政情報の共有 ②財政計画の見直しと公表	・総合計画書や恵那市の経営は、市の施策や市の財政状況が分かりやすくなっているので、もっと多くの市民に読んでもらえるように市民へのアピールや説明する機会を増やす必要がある。	企画課